

項目	内容
名称	キチン [英]Chitin [学名]-
概要	キチンは、かにやえびなどの甲殻類の外殻、菌類の細胞壁などにあるムコ多糖類であり、不溶性の食物繊維として知られている。キチンが部分的に脱アセチル化すると、キトサンになる。一般に食品添加物(増粘安定剤)として使用が認められている。
法規・制度	■食薬区分 「医薬品的効能効果を標ぼうしない限り医薬品と判断しない成分本質(原材料)」に該当する。 ■食品添加物 ・既存添加物：増粘安定剤
成分の特性・品質	
主な成分・性質	・ β -1,4-poly-N-acetylglucosamine。節足動物、軟体動物、外肛動物、菌類の主要な構造多糖であり、白色、無定形粉末又は繊維状で、酸、アルカリおよび各種溶媒に不溶である(32)。
分析法	・キチンはAOAC法により分析するが、アミノ糖であるためキチン由来の窒素量を求め、残渣中の総窒素量を差し引く補正を行っている(101)。

有効性

循環器・呼吸器	RCT ・LDLコレステロール値が高めの成人130名 (アメリカ) を対象とした二重盲検無作為化プラセボ対照試験において、Aspergillus niger 由来のキチングルカン(チン)を6週間摂取させたところ、1.5 g/日摂取群 (32名、平均50.9歳) で血中脂質 (LDL-C) が、4.5 g/日摂取群 (33名、平均49.1±11.2歳) で酸化LDLが、わずかに低下したが、その他の血中脂質濃度や血糖値、インスリン濃度、F2-イソプロスタノール濃度に影響は認められず、4.5 g/日およびオリーブ油抽出物135 mg/日併用群 (30名、平均50.7±9.8歳) では影響は認められなかった (PMID:22948945)。
ヒト	調べた文献の中に見当たらない。
ト	調べた文献の中に見当たらない。
の	調べた文献の中に見当たらない。
評	調べた文献の中に見当たらない。
価	調べた文献の中に見当たらない。
消化系・肝臓	調べた文献の中に見当たらない。
糖尿病・内分泌	調べた文献の中に見当たらない。
生殖・泌尿器	調べた文献の中に見当たらない。
脳・神経・感覚器	調べた文献の中に見当たらない。
免疫・がん・炎症	調べた文献の中に見当たらない。
骨・筋肉	調べた文献の中に見当たらない。
発育・成長	調べた文献の中に見当たらない。
肥満	調べた文献の中に見当たらない。
その他	調べた文献の中に見当たらない。

参考文献

- (30) 「医薬品の範囲に関する基準」(別添2、別添3、一部改正について)
(101) 日本農芸化学会誌 1993;67(4):677-84.
(2004276913) 皮膚病診療 2004;26:1019-21.
[\(PMID:22948945\) Eur J Clin Nutr. 2013 Jan;67\(1\):2-7.](#)
(32) 生化学辞典 第4版 東京化学同人生化学辞典
(78) 食品添加物インデックスPLUS [第4版] 和名・英名・ENo.検索便覧 中央法規
(公社) 日本輸入食品安全推進協会
(91) Registry of Toxic Effects of Chemical Substances (RTECS)
(2006315050) 日本透析医学会雑誌. 2006;39(6):1197-201.
[\(PMID:10859946\) 国立医薬品食品衛生研究所報告. 1999;117:129-34.](#)